



平成27年1月30日

各 位

上場会社名 ダイジェット工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 生悦住 歩
 (コード番号 6138)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 生悦住 英臣
 (TEL 06-6791-6785)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年7月31日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,800	710	670	520	17.43
今回修正予想(B)	10,000	520	540	310	10.39
増減額(B-A)	200	△190	△130	△210	
増減率(%)	2.0	△26.8	△19.4	△40.4	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	9,043	297	328	289	9.69

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,500	640	500	16.76
今回修正予想(B)	9,700	510	300	10.06
増減額(B-A)	200	△130	△200	
増減率(%)	2.1	△20.3	△40.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	8,742	299	278	9.33

修正の理由

通期の売上高は、円安の進行や自動車など需要業界の回復に伴い前回発表予想を上回る見込みであります。一方で、円安が進行し、輸入原材料価格が予想よりも上昇したこと、当第3四半期に地価の変動や、原材料価格の高騰等の影響により、富田林工場等に減損を認識し、減損損失82百万円を計上したこと、昨年9月26日に開示いたしました欧州支店の機構改革にあたり事業構造改善費用13百万円、事業構造改善引当金繰入額54百万円をそれぞれ計上したことにより、収益は前回予想を下回る見込みであります。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上